

おせ+プラス

第14号

2017.3月発行

ホツと
プラス

最新情報

「肝胆膵外科高度技能専門医」が着任



外科医師紹介!!

水野 修吾 医師 (みずの しゅうご)

本年1月より、三重大学肝胆膵・移植外科より在籍出向という形で勤務をさせてもらっています。

肝臓・胆嚢・膵臓の病変に関する治療ではお役に立てるかと思えます。これまで専門性の高い外科治療のみをおこなってこられたため、こちらの病院で求められる日常診療に関し、至らぬ点も多いと思えますが宜しくお願いいたします。

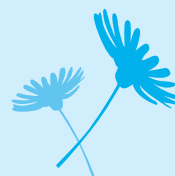
(尾鷲総合病院 あおさぎ広報 1月号より)

水野 修吾 医師



〈所属学会〉
日本外科学会
日本消化器外科学会
日本消化器病学会
日本臨床外科学会
日本膵臓学会
日本肝臓学会
日本肝胆膵外科学会
日本移植学会
日本移植学会
American Society of Transplantation

〈資格等〉
外科専門医
消化器外科専門医・指導医
消化器外科癌治療認定医
肝胆膵外科高度技能専門医
消化器病専門医
肝臓専門医



ほすぴたる プラス

Hospital plus

新型コロナウイルス 対策訓練をおこないました。

平成29年2月20日(月)、当院で新型コロナウイルスの発生に備えて、新型コロナウイルスの発生時における県の対応及び関係機関との連携を確認するため実動訓練をおこないました。

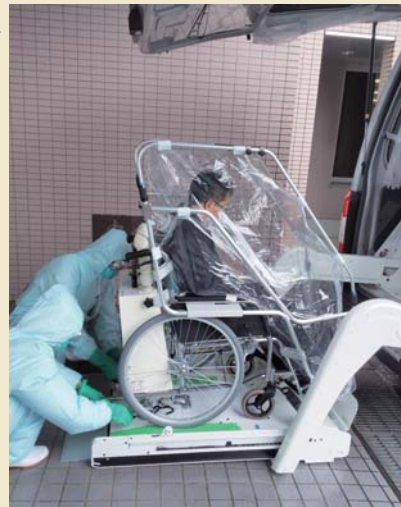
訓練には、県からは三重県業務感染症対策課の職員、尾鷲保健所、熊野保健所、尾鷲警察署、尾鷲総合病院の職員が参加しました。



想定

C国において新型コロナウイルスが発生、その感染者が爆発的に拡大している中、WHOより緊急事態宣言が発令された。それに伴い、我が国においても、その事実が国民に広く周知されており、東紀州地域において感染者の報告はなされていない。

市内在住の52歳男性が、1月末から2月17日まで仕事でC国に滞在、翌18日に帰国。19日夕刻から39.0℃の発熱症状があり、自宅療養していたが、体調の悪化により、当院救急外来を受診。



内容

- ①C国の状況を受け、県からの要請で帰国者・接触者外来を設置。(今回は外来を使用。)
- ②患者が救急外来受診時、問診を行い、新型コロナウイルス感染の可能性があることが発覚したため、救急外来師長から感染対策室へ連絡を行う。感染対策室は病院長に報告すると共に、感染症外来での対応を指示。疑わしい患者が受診したことを尾鷲保健所に連絡を行う。
- ③保健所は確認、調査のために防護具を着用し、搬送が可能な体制で尾鷲総合病院へ向かう。
- ④感染対策委員会(今回はICT中心)は、保健所を受け入れ、患者搬送に必要なルート、人材を確保する。
- ⑤感染症外来で対応するスタッフは、防護服を着用し、検査、診察を行う。
- ⑥保健所による聞き取り調査と検査結果により、新型コロナウイルス疑いの診断がなされ、第2種感染症指定医療機関である紀南病院へ搬送となる。

訓練を終えて

今回の訓練は、前年度の疑い患者が運ばれてくるという設定ではなく、すでに院内に疑い患者が入っているという設定で実施されました。保健所スタッフと感染対策室での打合せを行ない、受け入れる側の対応についてICT(感染制御チーム)で検討しシナリオを作成しました。訓練後の検証で以下のことが話し合われました。

- 病院長を中心として組織的に情報の集約、指示系統を明確にすることで混乱を最小限にすることができる。受診から転院までの流れはスムーズであった。
- 地方だからと国際的な感染流行のニュースを対岸の火事に

するのではなく、情報を職員全体に周知させる必要がある。

- 今回の訓練は、平日頃から保健所との関わりの中で協力体制を築き実施することができた。非常時こそ日常の関わりが関与してくるため各医療機関、施設とも連携を図る。
- 一般の人との接触を最小限にするルート確保が必要となるため、通常時の人の動きや流れを把握していなければならない。
- 今後の「個人防護具着用訓練」は、スムーズで安全な着脱法だけでなく、実際に診療行為の動作を加えて体験する。

シナリオありきの訓練は意味がないという考え方もありますが、緊急時の具体的な行動を身に付けるためには、訓練後のミーティングで保健所長が述べられたように、あらゆるケースを想定し訓練を重ねていく必要があると思います。

information じょうほうプラス

当院医師が出張公演を実施

～地域住民へ医療に関する情報発信～

昨年12月10日(土)に病院長の小藪 助成医師が尾鷲市立中央公民館で行われた三重大学病院CCUネットワーク支援センターの市民公開講座で地域住民約150名に向け『高血圧と慢性腎臓病について～血圧を気にしていますか?』と題し、慢性腎臓病を進める生活習慣病の予防の仕方などについて講演を行いました。

また、平成29年1月24日(火)には、おわせサンプラザで行われた尾鷲商工会議所女性部の新春おかみさん塾で整形外科部長の浅沼 由美子医師が『腰痛って治るの?』と題し、特異的腰痛である椎間板ヘルニア、圧迫骨折、感染性脊椎炎・化膿性脊椎炎、内臓疾患に伴う腰痛について解説し、尾鷲商工会議所女性部の部員約30名に向けて講義を行ない、医療に関する情報を地域の方々に発信しました。



外来担当医表 平成29年2月20日現在

診療科		月	火	水	木	金	備考
内科	1診	森脇 啓至	森脇 啓至	為田 雅彦	黒木 崇子	交代	ペースメーカー 第1月曜日 小藪 助成
	2診	吉澤 尚彦				為田 雅彦	
	循環器内科(予約)		大杉 和生	小藪 助成	世古口 茂幸	大杉 和生	
CAPD			小藪 助成				
透析		大杉 和生	小藪 助成	大杉 和生	大杉 和生	小藪 助成	
カテーテル検査					森脇 啓至 増田 純		
健康診断		小藪 助成				藤川 勝彦	
外科	1診	水野 修吾	加藤 弘幸	加藤 弘幸	加藤 弘幸	出崎 良輔	
	2診		出崎 良輔				
乳腺外来(第1月曜14時半~予約制)		三重大学 小川教授					
呼吸器外科				金田 正徳	金田 正徳		
胃カメラ		出崎 良輔	為田 雅彦	消化器内科医師		加藤 弘幸	
大腸内視鏡		外科医師		消化器内科医師		為田 雅彦	
整形外科	初診	浅沼 邦洋	担当医 (週替わり)	●中川 太郎	浅沼 由美子	三重大学医師	●10時~ 診察開始
	再診	中川 太郎	担当医	●浅沼 邦洋	浅沼 邦洋	中川 太郎	
	再診	浅沼 由美子	担当医	●浅沼 由美子	中川 太郎	担当医	
小児科	午前	川口 寛	川口 寛	川口 寛	川口 寛	川口 寛	
	午後 (予約)	ワクチン 外来	慢性外来	ワクチン 外来		乳児健診	
産婦人科		野村 浩史	野村 浩史	野村 浩史	野村 浩史	野村 浩史	
耳鼻咽喉科				坂井田 寛	今西 義宜		
眼科		玉置 力也	玉置 力也	玉置 力也	玉置 力也	玉置 力也	木曜日 第1週目のみ 三重大学医師
皮膚科	午前	前田 吉民	前田 吉民	前田 吉民	前田 吉民	前田 吉民	
	午後 (13時半~15時半受付)			前田 吉民			
泌尿器科		吉尾 裕子	佐谷 博之	佐谷 博之	佐谷 博之	佐谷 博之	
放射線科(予約制)						三重大学 野本教授 (第4週)	
精神科(小児のみ)(予約制)			(第4週) 大槻 一行			(第4週) 中西 大介	
神経内科(予約制)				三室 マヤ		伊井 裕一郎	
脳神経外科			柄尾 廣		田中 公人		

※学会等で休診または代診になる場合がありますので、お問い合わせください。

みなさまの声を聞かせください

本誌へのご感想やご意見、ご要望などございましたら、院内に設置されている患者さんの声に投稿いただくか、お気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先：尾鷲総合病院
owase-hp@city.owase.lg.jp
TEL 0597-22-3111



病院の理念

- 高度医療に対応できる東紀州地域の中核病院
- 地域の保健・医療・福祉との連携を促進し、地域の人々と共に創る病院
- 患者様に信頼され、いつでも安心して受診していただける患者様主体の総合病院
- 教育、研修機能を持つ病院
- 質の高い医療技術とサービスを提供する病院
- 職員一人ひとりが、病院の将来ビジョン・経営について考える病院